

2016年度 活動報告書

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ

Contents

【支援事業】英語パフォーマンス甲子園	2-3
【安堵町プロジェクト】うぶすなの郷 TOMIMOTO	4-5
【プロジェクト】日本の伝統建築技術等を無形文化遺産に	6-7
【連携事業】安堵町 地域振興構想	8
【連携事業】大学その他の機関との連携	9
【カルチャー事業】奈良ウェルネス倶楽部 通常講座／出張講座	10-14
【カルチャー事業】奈良ウェルネス倶楽部 講座事業スケジュール	15
【カルチャー事業】奈良ウェルネス倶楽部 熊本復興支援	16-17
【平成28年度 理事紹介】 (公社) ソーシャル・サイエンス・ラボ 理事プロフィール／ 入会案内	18
【SSL】当公益社団法人について (定款、概要、寄付のお願い)	19

当公益社団法人では、次代の青少年を育成するために、「英語パフォーマンス甲子園実行委員会」と共催で、年に一度日本文化発祥の地・奈良で高校生が主役の「英語パフォーマンス甲子園」を開催するための活動を推進しています。

アイデンティティを重視 「自分」を伝える

「英語パフォーマンス甲子園実行委員会」は2015年に発足し、行政（奈良県・奈良市）をオブザーバーに、内閣官房参与（当時）・元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使の木曾功氏が顧問、帝塚山大学の岩井洋学長が委員長に就任してスタートしました。実行委員には教育関係者以外に（公社）奈良市観光協会専務などの観光関係者なども含まれています。

開催理念には多様な文化を認め合い、異文化理解を深めて持続可能な社会づくりを目指すユネスコの理念が盛り込まれています。

グローバル化が進展する社会においては、文化的背景を異にする多様な人々の交流が広範囲にわたって展開すると予想され、またより一層先を見通すことも困難になります。そのため国際語である英語を話せ、自分の本当に伝えたいことを伝え、相手の伝えたいことを的確に受け取ることで、信頼関係を築いていく必要があります。

また、2022年度から高校教育の現場ではアクティブラーニングに力をいれた英語教育が実施されますが、そのためには生徒一人ひとりが課題を身体ごと受け止め、楽しみながら自分で積極的に課題を解決していく新たなアプローチが必要になります。このことから、この大会は単に語学力やパフォーマンスの素晴らしさを競う大会ではなく、何をどのように伝えるのか、異文化の相手に身体ごと伝えようとする表現力、伝達力を評価の基準としています。

海外からパフォーマーを招聘 中・高校生が観劇

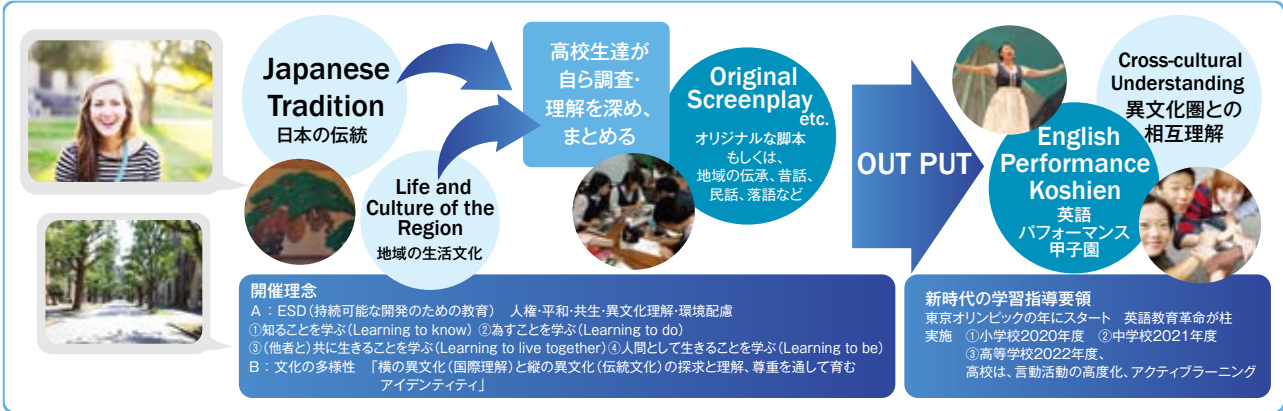
当公益社団法人では、理事長も実行委員として委員会に参加、実行委員会の事務局も当法人内に置き、積極的に甲子園開催の活動を進めています。

本年度は第4回の実行委員会開催から2月25日開催の第12回の実行委員会まで8回の実行委員会を開き、
 昨年の10月23日（日）には奈良女子大学の協力のもと同大学の講堂に於いて、本年8月19日（土）開催予定のプレ大会に先立ち、ドイツからプロのパフォーマーを招聘して、ドイツ発のコンテンポラリーダンス「浪人—Made in Germany」という英語劇を中・高校生と教師の方々に観劇してもらいました。

「浪人—Made in Germany」は、英語劇であると同時にヒップ・ホップ中心のダンス作品です。ニューヨーク生まれのヒップ・ホップは世界の若者を魅了してきましたが、それは言葉による表現に頼らなくても音楽やダンスで国境を超え、自らを伝えることが可能だからです。

ドイツの青年たちがドイツ語ではなく国際語の英語で演じた背景には、移民の受け入れ等によって、ドイツでは多民族化が進み自らのアイデンティティ喪失に悩む若者が多くいるからです。

公演終了後には、日本人でドイツ籍のパフォーマーを中心に今回の劇を例に取り、「自らを伝える」ことの大切さについて参加者に解説しました。



来年度のプレ大会、再来年以降の全国大会を通じ、実行委員会での懸案事項の一つに大会審査員の選定があります。

会議を重ねて交渉した結果、審査員長に村上憲郎氏（元Google 米国本社 副社長兼 Google Japan 代表取締役）、審査員に羽根拓也氏（元ハーバード大学ベストティーチャー）、ガー・レイノルズ氏（著書『プレゼンテーションZen』の著者）、金子啓子氏（ベネッセホールディングス執行役員 CLO）の4氏が内定しました。語学力だけで判断するのではなく、伝えるための表現力、プレゼンテーション力、日本の文化や地域についての理解など、従来の英語スピーチ大会や弁論大会では審査の対象になっていない視点を設けました。

かつて類例のない大会を目指しています。



Next term

奈良を中心に関西の高校が参加 プレ大会を開催

今年8月19日（土）午後、奈良市ならまちセンター市民ホールを会場に奈良県、奈良市、（公財）ユネスコ・アジア文化センター、ESD 活動支援センターの後援のもと「英語パフォーマンス甲子園プレ大会」を開催することが確定しています。グランプリ、準グランプリには奨学金等を用意、独創性、コンセプト、表現力、英語力、チームワークを競います。応募料、参加費ともに無料です。

伝統と文化を重視し新しい取り組みにチャレンジする団体を支援している財団の助成金公募に応じ、英語パフォーマンス甲子園実行委員会として一部助成金を活用できるようになりました。

プレ大会開催に先立ち、5月11日（木）には審査員でアクティブラーニングの先駆者である羽根拓也氏による教員やその他の方々が対象の研修会の開催を予定しています。7月には参加校対象の個別相談会も計画中です。

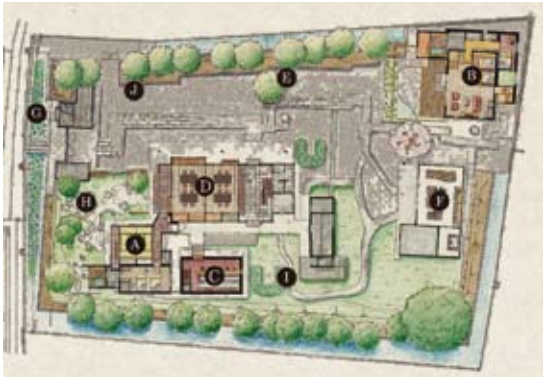
富本憲吉の息遣いを感じる風景ー美しい暮らし 豊かな時間。五感が心地よいと感じる空間

当公益社団法人は 2013 年 11 月に安堵町の旧富本憲吉記念館を取得し、運営先の企業と「芸術家・富本の創作空間を感じる宿」「寛げる宿」を目指して、企画段階から約 2 年間討議を重ねて来ました。

我が国の人間国宝第一号の富本憲吉の言葉に「樹を見るは陶器を見るに似たり」という含蓄の深い言葉があります。樹木の根を育てるのは、その土地の自然、歴史・風土です。デザインはもとより制作工程の細部まで見直して、自然に即し独自のスタイルを確立した富本の芸術家としての原点を大切に、今年 3 月に「うぶすなの郷 TOMIMOTO」がオープンしました。

これからも、より一層深く富本憲吉の原点を大切に、
「美しい暮らし 豊かな時間。五感が心地よいと感じる空間」の提供を目指します。

なお、このポリシーが評価されたのか、オープン前から地域創生、行政の補助金活用の成功例としてマスコミに取り上げられて来ました。



うぶすなの郷 TOMIMOTO

A『日新』(客室)

ツイン+和室 (2～4 名様)
63㎡/半露天風呂付き

世界的な医学者で、富本の親友の今村荒男も安堵の出身でした。芸術と医療というそれぞれの分野で、「日本を新たに」という思いで「日新」のテーマで共同の書画を残しています。同郷の二人は富本憲吉が過ごした和室で、日本の新しい未来について語り合ったかもしれません。奥の洋室は日新に合うモダンスタイルの部屋です。日本庭園を眺められる陶板風呂もご用意いたしました。



B『竹林月夜』(客室)

ツイン+セミダブル+和室 (2～8 名様)
139㎡/半露天風呂付き

リビングから見える風景は、友人バーナード・リーチとみた「竹林月夜」をイメージしております。また石灯籠のある坪庭が見える石風呂もございます。



C『アーティチョーク』
(カウンター レストラン)
(ご利用は宿泊客のみ)

ウィリアムモリスのモチーフと出会い感銘を受けた富本は、自身のモチーフを日本の植物アザミに見いだします。富本の美学とデザインの原点となったモリスの息づかいを感じることが出来るレストランです。



D『五風十雨』(大広間レストラン)

席数：最大 24 名
ランチ：11:30～14:00
ディナー：17:30～20:30
(各ご予約のみ)

「五風十雨」とは、五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降る順調で穏やかな農耕に適した気候を意味します。私達も豊かな自然の恵みへの感謝を忘れることなく味に託しております。



E『陶芸工房&Gallery』

富本憲吉を担う若手の陶芸家のための工房とギャラリーです。富本が生まれ育った自然・文化・歴史を感じながら創作活動に打ち込むことができます。

マスコミ紹介記事・番組一覧

下記は本年度末(2017 年 3 月 31 日)までの施設についての紹介記事、テレビ放映の一覧表です。4 月以降に掲載もしくは放映される番組の取材も進行中で、4 月中に掲載・放映予定の記事・番組も「週刊新潮」(新潮社)「おはよう朝日土曜日です」(ABC)、など多数あります。

媒体名	OA・掲載日
報道特集 (毎日放送)	1/21 (土) OA
Yahoo! ニュース	1/21 (土) 掲載
ゆうドキッ! (奈良テレビ放送)	1/24 (火) OA
ならナビ (NHK)	1/23 (月) OA
毎日新聞 奈良県版 朝刊	1/21 (土) 掲載
産経新聞 夕刊	1/21 (土) 掲載
Yahoo! ニュース	1/21 (土) 掲載
朝日新聞 奈良県版 朝刊	1/22 (日) 掲載
読売新聞 奈良県版 朝刊	1/23 (月) 掲載
奈良日日新聞	1/27 (金) 掲載
奈良新聞	2/ 1 (水) 掲載
Lmaga.jp (京阪神エルマガジン社)	1/26 (木) 掲載
Yahoo! ニュース	1/26 (木) 掲載
旅の手帖 (交通新聞社)	2/10 (金) 掲載
国際ホテル旅館 (ブライダル産業新聞社)	2/20 (月) 掲載
奈良日日新聞	2/24 (金) 掲載
ジバング倶楽部 (交通新聞社)	2/25 (土) 掲載
25ans (ハースト婦人画報社)	2/28 (火) 掲載
ならら (地域情報ネットワーク株式会社)	3 / 1 (水) 掲載
おはよう朝日です (ABC 朝日放送)	3/16 (木) 掲載
月刊ホテル旅館 (柴田書店)	3/22 (水) 掲載
ぱーぶる (エヌ・アイ・プランニング)	3/25 (土) 掲載



朝日新聞夕刊 都物語 2017.04.27 紙面
承諾書番号 (A17-1057)
※朝日新聞社に無断で転載することを禁止する



旅の手帖 2017 年 3 月号掲載



ぱーぶる 3/25 日号掲載

日本の伝統建築技術等を無形文化遺産に

当公益社団法人では、日本文化の基である「木の文化」に着目し、林業に関連する技も含めて、日本建築、作庭、築石等の「匠の技」の無形文化遺産登録を目指す活動を推進・支援しています。

奈良県には 1993 年に我が国初のユネスコ世界文化遺産に登録された世界最古の木造建造物である法隆寺ほか多くの世界文化遺産があります。

そして、法隆寺はいまも大工の神、心技一体のシンボルである聖徳太子を祀る寺として信仰の対象になっています。

一方、これらの背景にある生きた自然の素材を加工して利用する伝統的日本建築並び作庭、石垣建造などの精巧な技術を新たなユネスコの無形文化遺産に推挙し、登録を目指す活動が始まっています。

当公益社団法人では、これらの技術や生業を未来につなげるため無形文化遺産登録を目指して活動している、2014 年に発足した「伝統木造技術文化遺産準備会」の趣旨に賛同し、昨年度より同会との協力のもとで独自に活動を進めています。日本文化の源流である奈良、木の文化とともに磨かれてきた「普請の技」が失われると、継承されてきた茶の文化をはじめ礼儀、作法まで含めた日本の伝統文化そのものが廃れてしまう可能性があるからです。

「伝統木造技術文化遺産準備会」は哲学者の梅原猛氏が顧問、国立京都迎賓館の伝統的技術活用検討委員会委員長だった数奇屋建築の第一人者である中村昌生氏が会長の民間の組織で、伝統的な構法を内外に紹介し広めることによって、ユネスコの無形文化遺産登録を目指す会です。

また、この会は登録をゴールではなく新たなスタートとして、日本の美しい原風景を残し、職人の技術や暮らしを守りつつ豊かな緑とともに生きる持



続可能な社会を創出することを最終目標にして活動しています。

地元・奈良の地域活性化を目指して

奈良県は県土の約 80% を森林が占める森林県で、特に吉野地方は豊かな土壌に加えて年間雨量や平均気温にも恵まれ、年輪幅が細かく強度に優れ節の少ない日本屈指の良質材の産地として知られています。

ともすれば、樹木の伐採は環境破壊、地球温暖化につながると誤解されがちですが、若くて成長の活発な樹木ほど

二酸化炭素の吸収量が多く、植林・間伐・伐採の管理されたサイクル確立が地元の林業の存続の鍵となっています。

しかし、現実には厳しく外材の輸入増加によって、国産材の価格は 30 年前の 3 分の 1 にまで落ち込んでいます。さらに需要の約 60% を建設用材が占めていますが、間伐材などを利用した集成材や合板など低コストの利用が大半で、木材が本来持っている特質が生かされていない現実があります。

当公益社団法人としても、地元産業の活性化のためには、林業の衰退、建築関連の大工を始めとする職人の技の継承が危ぶまれている現実にとどのように対処して道筋を提示できるかが、大きな課題でした。

省庁をまたぐ無形文化遺産登録を目指す会にも参画

2013 年の和食、日本人の伝統的な食文化の無形文化遺産は国内外から注目され、多大な経済効果を生んでいます。伝統建築等にかかわる技の素晴らしさが世界に認知されることにより、生業、国内諸産業の活性化のみならず海外からの観光客増加にもつながります。

こうした観点に立脚して、「伝統木造技術文化遺産準備会」などの働きかけによって今年の 2 月下旬には内閣府、文化庁、国土交通省など諸省庁承諾のもとで、元文化庁長官の佐々木正峰氏が会長、哲学者の梅原猛氏が名誉顧問の全国組織「日本の『匠の技』の保存・活用とユネスコ無形文化遺産登録を推進する会」が発足しています。また、当公益社団法人もこの会に事務局として参加しています。



左・佐々木正峰会長 中央・梅原猛顧問 右・中村昌生副会長

Next term

次年度、奈良でシンポジウム開催

次年度の 2016 年度には「日本『匠の技』の保存・活用とユネスコ無形文化遺産登録を推進する会」発足後の対外的な活動を、当公益社団法人と伝統木造技術文化遺産準備会の共同主催で、まず奈良から始めることが決まっています。

6 月 24 日(土)、奈良春日野国フォーラム薨〜I・RA・KA〜に於いて、2020 年東京オリンピック新国立競技場設計者の隈研吾氏を招き、「日本の伝統建築技術と木の文化の未来」という講演&シンポジウムを開催する予定です。

シンポジウムには鈴木嘉吉氏(元奈良国立文化財研究所長)、木曾功氏(千葉科学技術大学長)、進士五十八氏(福井県立大学長)が参加、コーディネーターを当公益社団法人の川井徳子専務理事が務めます。



今年度、さらに次年度にかけて安堵町の歴史的財産の再発掘のための調査研究を行っています。さらにその成果を生かし、観光や地域経済の活性化に結びつけるための近隣の自治体との連携を模索しています。

当公益社団法人は平成 28 年度の事業として、民間シンクタンクのアルバック（地域計画建築研究所）の協力のもとで、安堵町から受託した「安堵町まちなか再生計画」をまとめました。

今年度はさらに当法人から「アート&（あんど）」という町が目指す方向性を定めた提案を行政に行いました。

そして、この提案を生かすためには、文化的資源を再発掘しつつ斑鳩、平群その他の地域と連携して広域で町づくりをしていく基本戦略と具体的なアプローチが必要なため、現在さまざま調査活動を行っています。

一方、安堵には他の市町村にはない「貴重な財産」があります。その財産を町が国や県からの助成を活かして、どのように地域の活性化に結びつけるのかの研究も始めています。

近代化に貢献した今村家の人々

安堵町の最も貴重な財産は、文化遺産と古代から続く歴史であり、水運によってもたらされた他文化の人たちとの交流によって営々と蓄積されて来た「知の集積」です。また、安堵の自然が育てて来た「自然に学び生きる」という利害を離れて大局に立ち自らを深めていく生き方です。

総務省では 2018 年（平成 30 年）が明治元年から満 150 年の年に当たるため「明治 150 年関連施策」の推進に力を入れ、全国の自治体に公募を行っています。「明治以降の歩みを次世代に遺す」「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」がその趣旨です。

さらに、2021 年は聖徳太子没後 1400 年に当たるため「聖徳太子プロジェクト」を組んで、奈良県では県内のゆかりのある市町村や府県などと連携した様々なイベントによる情報発信を実施し、地域の聖徳太子関連の歴史文化遺産活用につながる取り組みを進めています。

昨年 11 月には文化庁も歴史文化基本構想の策定事業の公募を行いました。対象は全国の市町村ですが、単独もしくは連携して策定することが条件で、市町村が県の



担当部署を経由して文化庁へ申請することになります。この事業は次年度以降も継続されると思われます。

一方、安堵は数多くの偉人を生んでいます。伴林光平ら明治維新の魁となった天誅組の主要メンバーらと親交があり、自らも知識人として広く知られていた今村文吾、文吾の甥で奈良県の再設置運動のリーダーだった今村勤三、彼の四男で結核治療に貢献し、医学界にいまも今村賞が引き継がれている第五代大阪大学総長の今村荒男などを輩出した今村家の近代日本の国づくりに大きく貢献した足跡が残っています。今村荒男は人間国宝第一号の富本憲吉とは旧制郡山中学時代からの友人で富本の生涯の友でした。その今村荒男の業績をもっと広く世の中の人々に知っていただく取り組みについて、当法人では安堵町に提案、協議した結果、次年度の国民文化祭の事業として取り上げられることになりました。

市町村連携の鍵は学術的な調査研究に

安堵の地に関連した偉人の歴史は聖徳太子にまでさかのぼることができます。

聖徳太子が最後に住んだ飽波葦垣宮は安堵にあったという伝承があります。安堵町は斑鳩と飛鳥を太子が馬で通った太子道が町内を走っていることで知られ、太子が休憩のため腰掛けたと伝えられる御幸石が現存していますが、発掘を伴う学術調査はまだ本格的に行われていません。飽波神社の由来についても調査が必要だと思われます。古文書に「飽波集団」が法隆寺に幡（ばん・旛）を納めた記録があります。飽波は渡来系の機織りの部族かもしれません。秦氏とも関わりがある可能性があります。

聖徳太子の時代、飽波評という地域がありましたが、太子の死後、大宝律令のもとでは郡へと地位が下がり、平群評が新たに誕生しています。

聖徳太子を巡ってはまだ謎も多く、他の市町村と連携していく上でも早急な学術調査とそれに基づく市町村間の調整が望まれます。

連携事業

大学その他の機関との連携

調査研究部門では全国商工会連合会公募の被災地支援事業として「東北わくわくマルシェ」の展開や奈良県公募の上北山村、明日香村、下市町、東吉野村の「一町一村まちづくり構想策定事業」、安堵町公募の「安堵町まちなか再生計画」などの策定事業にかかわってきましたが、外部組織との連携も積極的に推進しています。

帝塚山経営人類学研究会をサポート

当公益社団法人の日置弘一郎理事と中牧弘充氏（現・吹田市立博物館長）の国立民族学博物館定年退職に伴い、研究活動の拠点がなくなっていた経営人類学の拠点を帝塚山大学に移し、新たなメンバーを迎えて研究及び発表を続けることに協力してきました。

昨年度は 4 回研究会を持ちましたが、今年度は 7 月にコーネル大学の宮崎広和人類学部教授兼東アジア研究所長を研究会に招き、「東電危機とアベノミクスの金融人類学」というテーマで特別報告をしていただきました。宮崎教授は贈与交換論などで広く世界に知られた学者で、当日は会場となった奈良市内のホテルに多くの研究者が集いました。

我が国の経営人類学の学術的なレベルは非常に高く、国立民族学博物館時代から海外で注目されてきました。その成果を引き継ぐべく帝塚山経営人類学研究会も、今後の活動として研究会だけではなくシンポジウムの開催等を企画しています。当法人も趣旨に賛同し、今後も積極的にサポートしてまいります。



金融人類学者・宮崎教授の講演



岩井学長（左）、宮崎教授（中央）、日置弘一郎先生（右）

国立奈良女子大に共同研究を提案

奈良女子大では加齢に関する学際的な学問であるジェロントロジー（高齢学）の研究が行われ、その成果が注目されています。一方、当公益社団法人が運営している奈良ウェルネス倶楽部は、かつて社会保険庁が運営していた時代から、主に高齢者が通っているカルチャー施設です。

そして、公益性が常に問われる組織であるがゆえに活動についてのエビデンス（科学的根拠）が求められています。また、長寿化、高齢化に伴い介護、認知症対策、孤独死、雇用などさまざまな問題が現代社会の問題としてクローズアップされています。

そのため、カルチャー施設の受講生の調査などを含めた「老いを前向きに生きるジェロントロジー（高齢学）」の共同研究を提案しています。

奈良県長寿社会課とも連携して、これからも奈良女子大に限らず、大学等との共同調査・共同研究を提言していきます。

地方シンクタンク協議会に加入

地方シンクタンク協議会は地域に根ざした課題の調査研究や提言活動を行っている全国のシンクタンクが会員として加入している任意団体です。相互交流を計り、地域での政策提言の質的な向上により地域社会に貢献することが目標で、特別協賛会員である（公財）総合開発研究機構を除き 57 の組織が加入（本年度末現在）しています。

当公益社団法人も昨年度この協議会に加入、地域での政策提言の立案に取り組む準備を進めています。なお、同協議会では地方シンクタンクフォーラムのほか交流会、視察見学会、テーマ別研究会等も開催。2 月 24 日（金）奈良ロイヤルホテルホテルで開催された「第 15 回経営者会議」には当法人も参加、グループ討論テーマの「観光にみる地方活性化への進展～シンクタンクが考える観光戦略～」について意見の交換を行いました。



旧今村家本家（現・安堵町歴史民俗資料館）



飽波神社

奈良ウェルネス倶楽部は民間では関西トップクラスの規模と実績を有するカルチャー施設です。2007年4月から元社会保険庁なら社会保険センターの事業を継承し、厚生労働大臣認定健康増進施設として「からだ」と「こころ」の健康づくりを通して、地域コミュニティの活性化に貢献しています。

2016年度の運営目標は「魅力ある講座の運営と受講生の交流促進」でした。

- ① 300 講座の運営について創意工夫し、多くの受講生確保に努める
- ② 施設外での出張講座や外部提携講座の推進に努める
- ③ 受講生や講師による外部イベントへの積極的な参加により知名度を高める
- ④ 奈良ゆかりの伝統工芸・芸術などの地域色豊かな講座の開発に努める
- ⑤ 各種団体や自治体等と提携した特別催事や新規事業の開発に努める



所在地・当公益社団法人本社屋
奈良市西大寺国見町 1-7-22
(近鉄大和西大寺駅南口より徒歩5分)

奈良ウェルネス倶楽部年間講座開講状況

講座は基本、①各3ヵ月3回～12回。
②各6ヵ月6回～12回開催。

受講生件数 (単位：件)

期間	4月～ 6月期末	7月～ 9月期末	10月～ 12月期末	1月～ 3月期末	平均
2016年度	2,808	2,738	2,743	2,732	2,755

開設講座数 (単位：講座)

期間	4月～ 6月期末	7月～ 9月期末	10月～ 12月期末	1月～ 3月期末	平均
2016年度	279	276	283	278	279

担当講師数 (単位：人)

期間	4月～ 6月期末	7月～ 9月期末	10月～ 12月期末	1月～ 3月期末	平均
2016年度	138	137	140	140	138

開館日 (単位：日)

期間	開館 日数	休館 日数
2016年度	327	38

奈良ウェルネス倶楽部講座 年間開講状況

年間講座事業	年間 教室数	年間 開講数	年間延べ 受講人員
からだの健康づくり 37 講座	83	3,168	34,786
こころの健康づくり 95 講座	202	5,478	52,356
合計 (132 講座)	285	8,646	87,142

からだの健康づくり講座一覧 (37 講座・83 教室)				
	講 座 名	年間 教室数	年間 開講数	年間延べ 受講人員
1	ソフトエアロ	1	48	744
2	気功太極拳	8	332	4,835
3	健康体操	3	132	1,837
4	自彊術 (じきょうじゅつ)	1	44	550
5	ジャズ体操	1	48	684
6	リラックス体操	1	44	180
7	ジャズ健美操	1	44	600
8	熟年ジャズ体操	3	136	2,028
9	身体スッキリ骨盤体操	1	24	198
10	さわやかリズム体操	1	44	583
11	アロハ体操	1	48	204
12	ストレッチ&ウォーキング	2	88	673
13	ヨガ	5	176	1,705
14	ダイエットヨガヒーリング	1	44	539
15	ママ&ベビーヨガ	1	48	408
16	ピラティス	4	156	1,874
17	中高年の健康維持増進室	1	44	341
18	生活習慣病予防改善	1	44	847
19	中高年の健康貯筋教室	1	44	319
20	やさしいトレーニング	1	44	451
21	男のストレッチ&筋トレ	1	48	576
22	卓球	5	188	2,172
23	スポーツ吹矢	1	24	120
24	フープエクササイズ	1	40	160
25	フラメンコ	2	72	369
26	ベリーダンス	2	68	329
27	社交ダンス	7	308	2,761
28	ハワイアン・フラダンス	6	200	2,557
29	バレエ	6	264	3,514
30	バレエストレッチ	1	44	198
31	腰掛タップダンス®	1	24	312
32	タップダンス	1	24	96
33	ZUMBA (ズンバ)	1	44	418
34	美ウォークレッスン	1	24	78
35	山歩き	4	48	906
36	ゴルフ	3	104	524
37	ノルディックウォーキング	1	12	96
	(37 講座) 計	83	3,168	34,786

こころの健康づくり講座一覧 (95 講座・202 教室)				
	講 座 名	年間 教室数	年間 開講数	年間延べ 受講人員
1	囲碁	4	144	1,716
2	英会話	12	358	2,493
3	韓国語	7	308	2,398
4	中国語	5	220	1,760
5	フランス語	2	48	228
6	俳句	1	24	264
7	短歌	1	22	429
8	川柳	1	22	396
9	朗読	1	6	24
10	コミュニケーション力アップ	2	33	968
11	健康マージャン教室	4	96	2,184
12	パソコン	9	354	1,050
13	写真	3	66	847
14	おもしろ数学考房	2	48	240
15	はじめての古文書	1	24	210
16	DIY・クラフト教室	1	12	126
17	カラオケ	10	396	6,325
18	懐かしの名曲を愉しむ!	1	48	384
19	発声専門講座	1	48	360
20	コーラス	3	66	1,023
21	たのしいシャンソン	2	44	1,232
22	歌い継ぎたい季節の歌	4	82	2,022
23	ジャズボーカルサロン	1	24	150
24	民謡 (ひろみつ会)	1	44	616
25	詩吟 (桂心流)	1	44	396
26	ボイストレーニング	2	36	36
27	中高年の「らくらくピアノ®」	2	36	282
28	大人のピアノ	8	180	180
29	ギター講座入門	1	24	204
30	ウクレレ講座	2	42	414
31	大正琴	2	48	360
32	中国楽器 二胡	1	24	162
33	オカリナ	6	144	1,512
34	ハーモニカ	4	96	744
35	茶道 (裏千家)	3	132	1,166
36	着つけ	1	44	462
37	和の作法	1	24	174
38	絵画	2	88	594
39	裸婦デッサン	1	24	162
40	水彩画	5	136	1,149
41	水彩・詩画	1	24	144
42	はがき絵	1	24	348
43	一筆画 (一光流)	1	22	132
44	日本画	1	24	156
45	水墨画	4	96	834
46	はじめての風景スケッチ	3	36	456
47	パステル画	1	24	612
48	色えんぴつ画	1	24	312
49	似顔絵	1	24	186
50	切り絵	1	24	312
51	ファミリー書道	1	22	792
52	筆遊び 楽しみの書	1	12	90
53	暮らしの毛筆	1	22	242
54	現代書道	1	22	253
55	実用書道	1	44	352
56	日常書道	3	90	858
57	ペン習字	2	66	825
58	筆ペン講座	2	48	348
59	木彫	1	22	198
60	木版画	1	24	168

61	和紙ちぎり絵	2	36	276
62	押し花教室	1	12	72
63	ビーズステッチ	1	22	44
64	戸塚刺しゅう	1	24	216
65	アートフラワー	1	22	88
66	パンの花	1	24	240
67	ハーブ&アロマ	1	22	209
68	箱と雑貨のカルトナージュ	1	12	60
69	本格ジュエリーグルーデコ	2	24	192
70	フラワーアレンジメント	1	12	126
71	ドライフラワーアレンジメン	1	12	102
72	ガーデニング	1	12	138
73	ミニ盆栽	1	12	78
74	手編み	4	96	900
75	シーティング編み	1	12	84
76	手描友禅染	1	44	220
77	パッチワーク	4	92	1,095
78	洋裁リフォーム	2	44	572
79	和裁	3	132	1,265
80	金春流' 謡曲仕舞	1	44	627
81	かつほれ創作舞踊	1	24	84
82	奈良一刀彫能面	1	24	162
83	仏像彫刻	2	48	684
84	陶芸	4	156	694
85	バードカービング	1	22	220
86	「ほっこり」' 中国茶講座	3	30	252
87	摘み菜ウォーキング	1	10	60
88	バードウォッチング	1	12	78
89	手づくりの発酵食	1	12	174
90	作りたくなるスイーツ講座	1	12	66
91	パンづくりを楽しむ	1	12	54
92	キッチンガーデン	1	6	36
93	いけばな	1	24	48
94	ポーセラーツ	1	5	20
95	素敵大人女性の魅せ方	1	18	60
	(95 講座) 計	202	5,478	52,356

トレーニングジム開放 (フリー利用)

○目的：地域住民の健康保持・増進を目指して随時利用できる「トレーニングジム」を開設。

開放曜日・時間帯	毎週月・金曜 15時～21時 毎週水曜 15時～19時
利用登録者	194名
内 訳	男性：50名 / 女性144名
開放日数	144日
延べ利用者数	2,160名
1日平均利用者	15名



奈良ウェルネス倶楽部－通常講座－



生活習慣病予防
運動や食事についても指導しています。



ノルディック・ウォーク
歴史や季節を感じながら、奈良を巡ります。



ハワイアン・フラ
女性として新たな魅力を発見したい方におすすめ。



仏像彫刻
南都仏師が教える仏像彫刻。仏像の知識も得られます。



手描友禅染
布に絵を描く楽しさを、各自の個性を引き出しながら学びます。



ジャズ体操
軽快な音楽とともに楽しくジャズダンス。



気功太極拳
気血の流れを良くし健康な体づくりを目指します。



社交ダンス
正しく踊るための土台づくりをします。



民芸和紙ちぎり絵
日本伝統の和紙を貼り自分の思う色を作り上げます。



金春謡曲・仕舞
伝統ある芸の洗練された魅力を楽しみながら実践。



やさしいトレーニング
持久力、筋力、バランス、脳力などのトレーニング。



バレエ
人気講師による丁寧な指導で初心者の方も安心。



ハーブ&アロマ
生活を豊かにする癒しのひとときが過ごせます。



韓国語
本場の先生が優しく教える韓国語講座。



ファミリー書道
子供の成長に癒されるファミリー書道。

奈良ウェルネス倶楽部－出張講座－

高齢者施設等へ出張講座

「いつまでも元気で過ごしたい」。これはだれもが願うことですが、高齢者の方には特に切実です。個人差はありますが、心身の老化は高齢化とともに急速に進み、予防改善的な自己ケアを怠ると日常生活で支障をきたす要因になります。

奈良ウェルネス倶楽部は、長年にわたり培ってきた厚生労働大臣認定健康増進施設の実績を活かして「高齢者施設等へ出張講座」の展開に取り組み、地域に貢献しています。

現在、奈良市内の高齢者施設に、「ヨガ講座」と「フラダンス講座」の出張講座を開催しており、同施設の方から「講座に参加される方が増えており、皆さん楽しみにされています」とのお声や、「講座に参加された運動効果で、介護棟から自立棟に戻られた方がいます」との嬉しい事例報告をいただいております。

その他、各種団体へ出張講座も開催、企業等に講座開設の案内を積極的に行っています。



座ってできるヨガ教室



フラダンス教室



園芸出張教室

施設内での受講生作品展等の開催



木版画ロビー展



はがき絵作品展



パンの花作品展

1階ロビーにて
3月17日～20日まで

木版画作品展を開催、木版画の魅力をアピール。講師や受講生の皆さんの作品をロビーにて展示しました。

宮田渚先生による木版画実演会が好評で、実演会をきっかけに入講された方もいました。

2階展示コーナーにて
3月21日～4月4日まで

はがき絵作品展を開催しました。

3月21日には村田幸三先生による実演会「20分で描ける“はがき絵”マル秘テクニック」が開催され、たくさんのご来場を頂きました。

1階ロビーにて
3月21日～4月4日まで

パンの花ロビー展が開催されました。

本物の花ではないけれど、花の存在感がある、粘土で作る芸術的な花。

大きな額縁に入った大作から、季節の節句の飾りまで

講師の玉置先生の作品を展示していただきました。

講師、受講生の外部活動報告

カラオケ教室発表会 4月30日

北沢 麻衣 講師

場所 やまと郡山城ホール



カラオケ講座、北沢麻衣クラスの第12回合同発表会が開催され、受講生が、日頃の成果を披露しました。

たのしいシャンソンコンサート 5月26日

ゆうき 芽衣 講師

場所 奈良市西部会館 学園前ホール



15回目となる「たのしいシャンソン講座」の発表会が行われました。受講生たちが楽しく歌い上げる姿がとても印象的でした。

日本民謡 ひろみつ会 発表会 5月8日

藤本 ひでまさ 講師

場所 やまと郡山城ホール



30周年を記念した発表会。北から南までの民謡披露や三味線の演奏などが行われました。

ウイキ&ホイケハワイアンフラ卒業式・発表会 5月14日

田中 晴美 講師、小西 京美 講師

場所 けいはんなホール



ピリアロハフラ主催の第13回ハワイアンフラ卒業式・発表会が行われ、華やかな衣装に身を包んだ受講生たちが熱演しました。

◆長寿と健康の祭典（ねんりんピック2016）全国大会へ出場！！

奈良県代表チームとして奈良ウェルネス倶楽部の卓球教室受講生4名（初参加）と尼崎講師（監督兼選手・4回目の参加）が全国大会へ出場しました。他府県代表の3チームと対戦、大いに健闘し交流を深めました。

◆第45回クラウン全国詩吟コンクール決勝大会入賞！

詩吟講座の受講生が、全国21地区3000余名から選ばれ予選を勝ち抜いた詩吟仲間と競い、決勝大会で見事入賞しました。

5月11日～23日

68回三軌展 野口啓子 講師 / 植木善三郎 講師

場所 国立新美術館（東京六本木）

5月15日

大正琴演奏会 琴扇修嘉 講師 場所 サンケイホールブリーゼ

6月12日

日本ハーモニカ芸術協会第30回定期演奏会 高山美千代 講師

場所 橿原文化会館

6月19日

奈良市吹奏楽団 BLUE RAG Concert note17 松岡徳郎 講師

場所 奈良県橿原文化会館

7月2日～4日

豆川雅比古作陶展 豆川雅比古 講師 場所 やまと郡山城ホール

7月17日

ベリーダンスフェスティバル DiDi 講師 場所 阪急うめだ 本店

9月4日

芝山真知子 万葉 JAZZLIVE 芝山真知子 講師

場所 ギャラリーカフェタケノ

9月17日

お能の舞と二胡のスペシャルライブ 林宏美 講師 場所 西大和さえき

9月24日

フルート & オカリナコンサート 松岡徳郎 講師 場所 藤岡家住宅

10月15日～22日

宮田 渚木版画秀作展 宮田渚講師 場所 ギャラリー風と心

カルチャー事業

奈良ウェルネス倶楽部講座事業スケジュール

各部門	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3ヶ月講座	1期講座		2期講座		3期講座		4期講座					
6ヶ月講座	1・2期講座						3・4期講座					
運営・管理			受講生アンケート実施		講師アンケート実施							
	第1回 運営委員会		第2回 運営委員会		第3回 運営委員会		講師全体 会議					
講座・企画	4月講座募集 ・体験会等 イベント開催		講座見直し ・新講座開発 ・講師探し ・企画立案		10月講座募集 ・体験会等 イベント開催		講座見直し ・新講座開発 ・講師探し ・企画立案		次年度 事業計画策定 ・予算計画立案 ・施設整備計画 ・講座企画計画 ・近隣施設等調査 ・全講座編成検討 ・PR販促計画 ・事業推進 計画等			
熊本地震復興 支援イベント	国際映画祭 とのコラボ 企画立案		・講師、受講生に 参加協力依頼		PRポスター プログラム 等作成		9/11熊本 地震復興 イベント開催					
PR・販促 (情報配信)	・PRエリア調査 ・募集チラシ制作 ・HP編集等 ・リリース発信		・反響収集 ・PR後の 各反響分析等		・PRエリア調査 ・募集チラシ制作 ・HP編集等 ・リリース発信		・反響収集 ・PR後の 各反響分析等					
事業促進 (外部出張事業)	各種団体、法人への事業提案（出張講座・講師派遣・セミナー開催等）〈保険会社・介護施設等〉											
	※高齢者施設へ「ヨガ教室とフラダンス教室を年間契約で開催」											

受講生募集チラシを年2回制作・配布

- ・年2回の講座募集に合わせて、各種体験会イベントも併せて実施。
- ・募集チラシの配布地域（奈良市、大和郡山市（一部）、木津川市（一部））

4月期募集チラシ

2月29日新聞折込

配布部数 156,000部



10月期募集チラシ

8月30日 ポスティング／配布部数 60,000部

9月9日 新聞折込／配布部数 60,000部



奈良ウェルネス倶楽部（熊本復興支援）

熊本復興支援イベント「今わたしたちにできること」
映画無料上映会・「東北・熊本」物産展・チャリティ販売会など
9月11日（日）奈良ウェルネス倶楽部にて開催！

4月に発生した熊本地震の復興のため、私たちに出来ることは何かを考え、平成28年9月11日（日）に熊本地震復興支援イベント「今わたしたちにできること」を開催いたしました。

地震前の熊本を題材にした映画の無料上映や熊本物産品の販売、受講生作品のチャリティ販売会を開催し、来場者の皆さまとともに被災地へ支援の想いを届けました。



映画「うつくしいひと」 製作／くまもと映画製作実行委員会

震災前の美しい熊本の風景に思いを馳せ、それが熊本の支援になることを願いました。

監督・脚本／行定勲 脚本／堀泉杏 出演／橋本愛、姜尚中、高良健吾、石田えり、米村良太郎ほか

映画上映会の様子

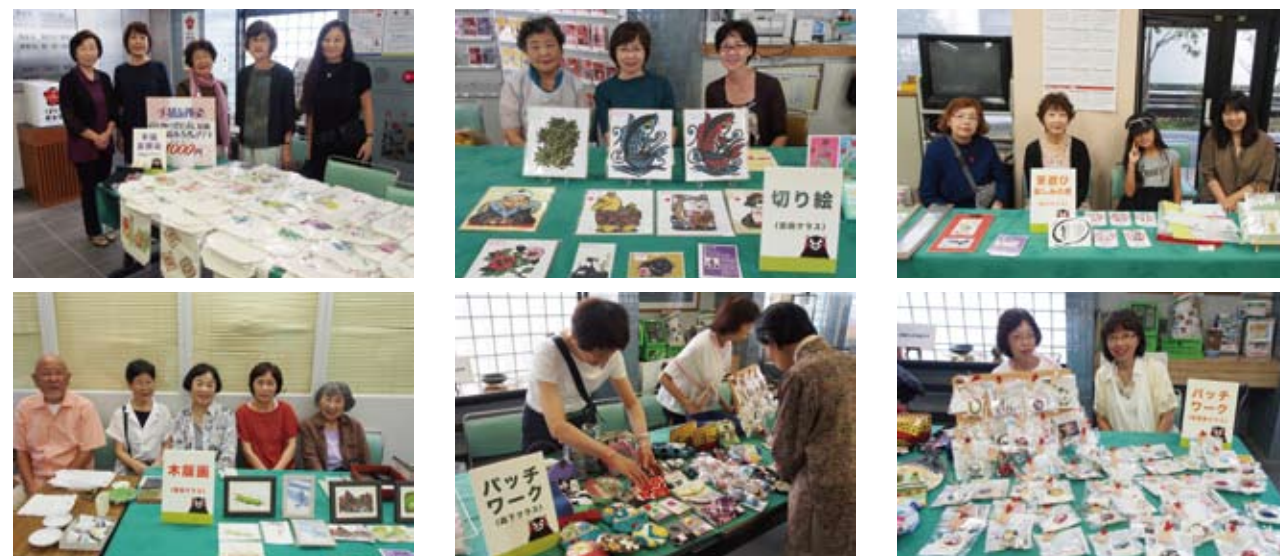


熊本復興支援イベントに参画させていただきありがとうございました。行定勲監督作品「うつくしいひと」は熊本県を盛り上げたい！という熊本県の依頼がきっかけで製作され、2016年3月菊池映画祭のオープニングで披露目されました。その翌月に起きた震災を境に、この作品の役割が変化します。美しい熊本の記憶をとどめた映画。人はいとおしい記憶がなければ生きていけない。監督自身あらためて映画の力に気づいたといえます。この作品を多くの皆様にお届けするお手伝いが出来て光栄でした。ご覧頂いた方それぞれに故郷に対する思いを深めていただけたのではないのでしょうか。

なら国際映画祭実行委員会は若い人材の育成、美しい文化の創造と発信を使命として活動を続けております。映画を通じて人生が変わる瞬間も数多く目にしてきました。来年秋の映画祭開催に向けて準備をすすめておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人なら国際映画祭実行委員会 中野聖子

チャリティー作品販売 会場の様子



熊本×東北物産展・飲食コーナーの様子



いつくしみコンサート会場様子



行定勲監督に尼崎理事長から「熊本地震復興支援イベント」の義援金目録を手渡す





公益社団法人
ソーシャル・サイエンス・ラボ
Social Science Lab